

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
Communication 英語 II	3	2年I類A型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	Revised <i>BIG DIPPER</i> : <i>English Communication II</i> (数研出版)		『英単語 Stock 3000』(文英堂) 『ALL EARS: BASIC』(美誠社)

【科目の到達目標】(Purposes of the Course) 「天理学園英語教育ガイドライン」より

<Reading>

1. 英検準2級レベルの文章(300語程度の長文)を2分30秒ほどで読み、概要を理解することができる。
2. まとまりのある説明文を理解し、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。
3. 一般向けに書かれた説明文(チラシ・パンフレット等)、論説文、評論文を理解することができる。

<Listening>

1. 日常生活における情報および説明や、まとまりある内容を聞き取って理解できる。
2. あるトピックに関するスピーチや、日常会話の中でプレゼンテーションを聞き、その内容を理解することができる。
3. 相手の意見や説明を聞いて、理解することができる。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	学習単元・項目	Reading ( <i>Big Dipper</i> = BD)		Listening ( <i>All Ears</i> = AE)		
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動	
一 学 期	4	BD: Lesson 1	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出語彙確認</li> <li>・スラッシュ・リーディング</li> <li>・音読活動</li> <li>・内容確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。</li> <li>・ネイティブスピーカーが読み上げた英文をディクテーションできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。</li> </ul>	
	5	AE: Lesson 1 Lesson 2					
	6	<b>中間考査 Midterm Examination</b>					
	7	BD: Lesson 3 AE: Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主語や述語動詞を意識しながら英文を読む。</li> <li>・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出語彙確認</li> <li>・スラッシュ・リーディング</li> <li>・音読活動</li> <li>・内容確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。</li> <li>・まとまった内容をおおまかに理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。</li> <li>・読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。</li> </ul>	
<b>期末考査 First-term Examination</b>							

	月	学習単元・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (All Ears = AE)	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	BD: Lesson 4	文章の流れを意識しながら英文を読める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新出語彙確認</li> <li>・ スラッシュ・リーディング</li> <li>・ 音読活動</li> <li>・ 内容確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。</li> <li>・ まとまった内容をより正確に理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。</li> <li>・ 読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。</li> </ul>
	10	AE: Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8				
	<b>中間考査 Midterm Examination</b>					
	11	BD: Lesson 6	文章の流れを意識しながら英文を読める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新出語彙確認</li> <li>・ Recall Protocol</li> <li>・ 音読活動</li> <li>・ 内容確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。</li> <li>・ まとまった内容をより正確に理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。</li> <li>・ モデルとなる英文や会話文の暗唱等。</li> </ul>
	12	AE: Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12				
<b>期末考査 Second-term Examination</b>						
三 学 期	1	BD: Lesson 9	まとまりのある説明文を理解することや、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新出語彙確認</li> <li>・ Recall Protocol</li> <li>・ 音読活動</li> <li>・ 内容確認テスト</li> </ul>	日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。</li> <li>・ モデルとなる英文や会話文の暗唱等。</li> </ul>
	2	AE: Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15				
	3	Lesson 16				
<b>学年末考査 Final Examination</b>						

### 【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

外国語は、教祖の教えを世界の人々に伝えるための重要な道具です。その国や地域に住む人々のことばと文化を理解し、陽気ぐらし世界実現の一助となるよう、身近な外国語である英語の学習に勇んで取り組みましょう。また、同時に英語とはコミュニケーションの道具であるので、積極的に学習した表現を授業中の活動で使用してみましょう。

また、お道の書物の多くは外国語に翻訳されており、英語版の『おふでさき』や『天理教教典』なども出版されています。英語を通して原典に親しみ、理解することも可能です。天理高校生にとって英語の学習は、信仰を深めるという観点からも、意義のあるものに違いありません。

そして、自分の興味・関心のあるスポーツなどのさまざまなものは、必ず英語と結びつけることができます。数をこなし、覚えるべきものはしっかり覚え、そして自分自身のために役立つ英語を、元気よく学びましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
Communication 英語 II	3	2年I類B型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	Revised BIG DIPPER: English Communication II (数研出版)		『英単語 Stock 3000』(文英堂) 『ALL EARS: BASIC』(美誠社)

【科目の到達目標】(Purposes of the Course) 「天理学園英語教育ガイドライン」より

<Reading>

1. 英検準2級レベルの文章(300語程度の長文)を2分30秒ほどで読み、概要を理解することができる。
2. まとまりのある説明文を理解し、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。
3. 一般向けに書かれた説明文(チラシ・パンフレット等)、論説文、評論文を理解することができる。

<Listening>

1. 日常生活における情報および説明や、まとまりある内容を聞き取って理解できる。
2. あるトピックに関するスピーチや、日常会話の中でプレゼンテーションを聞き、その内容を理解することができる。
3. 相手の意見や説明を聞いて、理解することができる。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	学習単元・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (All Ears = AE)		
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動	
一 学 期	4	BD: Lesson 1 Lesson 2	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読める。	・新出語彙確認 ・スラッシュ・リーディング ・音読活動 ・内容確認テスト	・音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ネイティブスピーカーが読み上げた英文をディクテーションできる。	・音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。	
	5	AE: Lesson 1 Lesson 2					
	6	<b>中間考査 Midterm Examination</b>					
	7	BD: Lesson 3 Lesson 4  AE: Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読める。 ・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・新出語彙確認 ・スラッシュ・リーディング ・音読活動 ・内容確認テスト	・音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・まとまった内容をおおまかに理解できる。	・音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。	
<b>期末考査 First-term Examination</b>							

	月	学習単元・項目	Reading ( <i>Big Dipper</i> = BD)		Listening ( <i>All Ears</i> = AE)		
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動	
二 学 期	9	BD: Lesson 5 Lesson 6	文章の流れを意識しながら英文を読める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出語彙確認</li> <li>スラッシュ・リーディング</li> <li>音読活動</li> <li>内容確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。</li> <li>まとまった内容をより正確に理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。</li> <li>読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。</li> </ul>	
	10	AE: Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8					
	<b>中間考査 Midterm Examination</b>						
	11	BD: Lesson 7 Lesson 8	文章の流れを意識しながら英文を読める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出語彙確認</li> <li>Recall Protocol</li> <li>音読活動</li> <li>内容確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。</li> <li>まとまった内容をより正確に理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。</li> <li>モデルとなる英文や会話文の暗唱等。</li> </ul>	
12	AE: Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12						
<b>期末考査 Second-term Examination</b>							
三 学 期	1	BD: Lesson 9 Lesson 10	まとまりのある説明文を理解することや、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出語彙確認</li> <li>Recall Protocol</li> <li>音読活動</li> <li>内容確認テスト</li> </ul>	日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。</li> <li>モデルとなる英文や会話文の暗唱等。</li> </ul>	
	2	AE: Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15					
	3	Lesson 16					
<b>学年末考査 Final Examination</b>							

### 【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

大学受験に向けて、高い意識で授業に臨むことを期待します。大学入学共通テストをはじめとする大学入試に対応できる英語力を要請するためには、多種多様な英語表現を数多く習得する必要があります。さまざまな教材・媒体を通して一つでも多くの英語表現に出会い、自分のものにして下さい。また、定期的に現在の自分の実力を測るためにも、進研模試や全統模試などの模擬試験を積極的に受験し、自分と向き合い、今後の課題を具体的に見つけられる機会を持つようにしましょう。

大学入学共通テストにおいては、リーディングとリスニングがそれぞれ100点ずつと、リスニングの割合が圧倒的に高くなっています。そのため、本クラスでは、主にreadingとlisteningのトレーニングを同じ割合で重点的に行います。それぞれの技能向上のために必要不可欠な語彙増強(vocabulary building)を基礎とし、さまざまな英語表現のinputを行い、それらをoutputおよびlisteningにおいて理解できるようにするための発音練習に徹底的に取り組み、またテキストの本文を用いての音のつながり(linking)、同化(assimilation)、脱落(elision)、抑揚(intonation)などを意識した音読練習やシャドーイングも活動の柱として徹底的に行っていきます。このようなトレーニングを通して習得した音声面におけるより高い英語力を用いて、読解の際のスピードを上げ、多量の英文を臆することなく読むことができるようになることに繋げていくことを期待しています。さらに、各レッスンのテーマを利用しての活動といったcontent-basedな取り組みにも幅を広げることで、outputの機会を設け、国公立大学2次試験の自由英作文の練習の一環とします。

さて、英語力を上達させるためには、授業内の学習だけでは不十分であり、課外でどれだけ積極的に取り組むかで大きく異なります。そのため、生徒諸君にとっては相当な負荷がかかることが予想されますが、積極的かつ能動的な授業参加を強く望みます。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
Communication 英語 II	3	2年I類C型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	Revised BIG DIPPER: English Communication II (数研出版)		『英単語 Stock 3000』(文英堂) 『ALL EARS: BASIC』(美誠社)

【科目の到達目標】(Purposes of the Course) 「天理学園英語教育ガイドライン」より

<Reading>

1. 英検準2級レベルの文章(300語程度の長文)を2分30秒ほどで読み、概要を理解することができる。
2. まとまりのある説明文を理解し、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。
3. 一般向けに書かれた説明文(チラシ・パンフレット等)、論説文、評論文を理解することができる。

<Listening>

1. 日常生活における情報および説明や、まとまりある内容を聞き取って理解できる。
2. あるトピックに関するスピーチや、日常会話の中でプレゼンテーションを聞き、その内容を理解することができる。
3. 相手の意見や説明を聞いて、理解することができる。

【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	学習単元・項目	Reading (Big Dipper = BD)		Listening (All Ears = AE)		
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動	
一 学 期	4	BD: Lesson 1 Lesson 2	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読める。	・新出語彙確認 ・スラッシュ・リーディング ・音読活動 ・内容確認テスト	・音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・ネイティブスピーカーが読み上げた英文をディクテーションできる。	・音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。	
	5	AE: Lesson 1 Lesson 2					
	6	<b>中間考査 Midterm Examination</b>					
	7	BD: Lesson 3 Lesson 4  AE: Lesson 3 Lesson 4 Lesson 5	・主語や述語動詞を意識しながら英文を読める。 ・制限時間内に速やかに英文を読み、内容をおおまかに理解できる。	・新出語彙確認 ・スラッシュ・リーディング ・音読活動 ・内容確認テスト	・音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。 ・まとまった内容をおおまかに理解できる。	・音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。 ・読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。	
<b>期末考査 First-term Examination</b>							

月	学習単元・項目	Reading		Listening		
		ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動	
二 学 期	9 BD: Lesson 5 Lesson 6	文章の流れを意識しながら英文を読める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出語彙確認</li> <li>スラッシュ・リーディング</li> <li>音読活動</li> <li>内容確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。</li> <li>まとまった内容をより正確に理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。</li> <li>読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。</li> </ul>	
	10 AE: Lesson 6 Lesson 7 Lesson 8					
	<b>中間考査 Midterm Examination</b>					
	11 BD: Lesson 7 Lesson 8	文章の流れを意識しながら英文を読める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出語彙確認</li> <li>Recall Protocol</li> <li>音読活動</li> <li>内容確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。</li> <li>まとまった内容をより正確に理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。</li> <li>モデルとなる英文や会話文の暗唱等。</li> </ul>	
12 AE: Lesson 9 Lesson 10 Lesson 11 Lesson 12						
<b>期末考査 Second-term Examination</b>						
三 学 期	1 BD: Lesson 9 Lesson 10	まとまりのある説明文を理解することや、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出語彙確認</li> <li>Recall Protocol</li> <li>音読活動</li> <li>内容確認テスト</li> </ul>	日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。</li> <li>モデルとなる英文や会話文の暗唱等。</li> </ul>	
	2 AE: Lesson 13 Lesson 14 Lesson 15					
	3 Lesson 16					
<b>学年末考査 Final Examination</b>						

### 【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

C型の生徒として、気概とプライドをもって授業に臨むことを期待します。本クラスでは、主に reading と listening のトレーニングを重点的に行います。それぞれの技能向上のために必要不可欠な語彙増強 (vocabulary building) を基礎とし、さまざまな英語表現の input を行い、それらを output および listening において理解できるようにするための発音練習に徹底的に取り組み、またテキストの本文を用いての音のつながり (linking)、同化 (assimilation)、脱落 (elision)、抑揚 (intonation) などを意識した音読練習やシャドーイングも活動の柱として徹底的に行っていきます。このようなトレーニングを通して習得した音声面におけるより高い英語力を用いて、読解の際のスピードを上げ、多量の英文を臆することなく読むことができるようになることに繋げていくことを期待しています。さらに、各レッスンのテーマを利用した活動といった content-based な取り組みにも幅を広げていきます。

さて、英語力を上達させるためには、授業内の学習だけでは不十分であり、課外でどれだけ積極的に取り組むかで大きく異なります。そのため、担当者が「英語演習」と同一であるという事実からも、生徒諸君にとっては相当な負荷がかかることが予想されますが、積極的かつ能動的な授業参加を強く望みます。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
コミュニケーション英語 II	4	2年・2類・文理型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	LANDMARK (啓林館)		夢をかなえる英単語1 (アルク)

<p>科目の到達目標</p> <p>英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養う。</p>
--

<p>評価の観点と方法について</p> <p>定期考査70%以上。平常点としては、単語・構文の小テストの点数、音読や暗唱の努力状況、予習や授業中の態度を考慮して30%以内とする。</p>
---

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
一 学 期	4	Lesson1 I'm the Strongest!	input した英文を intake することを目指す。内容を理解した英文をしっかりと暗記していくことで、output できる表現を増やしていく。	予習の段階において、本文を読みながら、新出単語の意味確認を行う。授業中は T/F、part 内の重要構文を中心に解説を進める。その後音読練習で本文の暗記を目指す。	リスニングの試験において大切なことは、その音を聞いて、瞬時にその単語の意味を理解できるということである。まずはユメタン1を用いて、基礎的な単語を通して、リスニングの基礎を養成する。	英語の音に慣れることを目指し、単語から短い文のディクテーションを目指す。
	5	Lesson2 Tokyo's Seven-minute Miracle				
	6	Lesson3 Saint Bernard Dogs				
	7	Lesson4 Chanel's Style	期末テスト			

	月	学習単元・項目	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動
二 学 期	9	Lesson5 Science of Love				
	10	Lesson6 Gaudi and His Messenger  中間テスト				
	11	Lesson7 Letters from a Battlefield				
	12	Lesson8 Edo: A Sustainable Society  期末テスト				
三 学 期	1	Lesson9 AI and Our Future				
	2	Lesson10 Bhutan : A Happy Country				
	3	学年末考査				
<p>その他 ( 履修上の留意点・大学等進学のための学習など )</p> <p>復習を大切にする。授業中に課された課題 (ユメタンのクイックレスポンス、小テスト、本文音読・暗唱など) に取り組む。この1年間しっかり土台作りを頑張りましょう。</p>						



科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
Communication 英語 II	2	2年3類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	Revised BIG DIPPER: English Communication I (数研出版)		『ユメタン Jr.』(アルク) 『ユメリス 0』(アルク)

**【科目の到達目標】(Purposes of the Course) 「T-SEEGs 天理学園英語教育ガイドライン」より**

**<Reading>**

1. 英検準2級レベルの文章(300語程度の長文)を2分30秒ほどで読み、概要を理解することができる。
2. まとまりのある説明文を理解し、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。
3. 一般向けに書かれた説明文(チラシ・パンフレット等)、論説文、評論文を理解することができる。

**<Listening>**

1. 日常生活における情報および説明や、まとまりある内容を聞き取って理解できる。
2. あるトピックに関するスピーチや、日常会話の中でプレゼンテーションを聞き、その内容を理解することができる。
3. 相手の意見や説明を聞いて、理解することができる。

**【評価の観点と方法について】(Grading Procedure)**

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	BIG DIPPER	Reading		Listening		
			ねらい	方法・活動	ねらい	方法・活動	
一 学 期	4	Lesson 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音記号(母音および基本的な子音)を理解する。</li> <li>・英文を前から読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出語彙確認</li> <li>・スラッシュ・リーディング</li> <li>・音読活動</li> <li>・内容確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。</li> <li>・ネイティブスピーカーが読み上げた英文をディクテーションできる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。</li> </ul>	
	5						
	6	<b>中間考査 Midterm Examination</b>					
	7	Lesson 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英文を英語の語順通りに読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出語彙確認</li> <li>・スラッシュ・リーディング</li> <li>・音読活動</li> <li>・内容確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音のつながりや同化、脱落などに注意して聞き取ることができる。</li> <li>・まとまった内容をおおまかに理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音のつながり等を意識した音読練習およびシャドーイング。</li> <li>・読み上げられた単語を書き取る等の、単語レベルのディクテーション。</li> </ul>	
<b>期末考査 First-term Examination</b>							

	月	BIG DIPPER	Reading		Listening	
			ねらい	方法・活動	ねらい	ねらい
二 学 期	9	Lesson 6	英文を英語の語順通りに読むことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出語彙確認</li> <li>スラッシュ・リーディング</li> <li>音読活動</li> <li>内容確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディクテーション、オーバーラッピング、シャドーイング練習を通して、まとまりある英文を聞き取ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディクテーションおよび発音チェック。</li> </ul>
	10					
	11	Lesson 7	大意を把握できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出語彙確認</li> <li>Recall Protocol</li> <li>音読活動</li> <li>内容確認テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>短い会話文を聞き取り、内容を理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容確認テスト、ディクテーションおよび音チェック。</li> </ul>
	12	Lesson 8				
	三 学 期	1	Lesson 9	大意を把握できる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>新出語彙確認</li> <li>Recall Protocol</li> <li>音読活動</li> <li>内容確認テスト</li> </ul>	日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。
2		Lesson 10	<b>学年末考査 Final Examination</b>			
3						

### 【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】

みなさんの中から将来、スポーツや音楽において世界でプレーする人が出てくるかもしれません。そのときに英語が使えるなら、世界中の人々とコミュニケーションを取ることができます。将来世界で活躍することを目指し、高い志を持って高校での英語の学習に取り組んでください。

英語の基本は語彙力です。毎週行われる「ユメタンテスト」の合格を目指して努力してください。また、将来英語が使えるようにするための素地として、英文を頭に残しておくことも大切なので、本文を理解した後にしっかり音読をし、使える表現を増やしていきましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現Ⅱ	3	2年Ⅰ類 A型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
* * * * *	Revised Vision Quest English Expression I Vision Quest English Expression II Hope	総合英語 Vision Quest 英単語 Stock3000	

科目の到達目標と CAN-DO リスト	
Writing	Speaking
<b>目標</b> 日常生活での話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができる。 ■印象に残った出来事について、その内容を伝える文章を書くことができる。 ■日本や日本の文化について紹介する文を書くことができる。	<b>目標</b> 日常生活での出来事について説明することや、用件を伝えたりすることができる。 ■印象に残った出来事について、話すことができる。(4分程度) ■日本や日本の文化について紹介することができる。

評価の観点と方法について
定期考査は7割以上、平常点は3割以下として総合判断する。平常点は小テストの成績、提出課題の内容、授業態度等を総合的に判断して決定する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい (文法事項/トピック)	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Lesson 10	関係詞/文化	①モデル会話文を用いて、スピーキングに必要なスキルを習得する。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容、小テストの結果によって評価する。
		Lesson 11	比較/社会問題		
	5	中間考査		②Practice に取り組み、スピーキング・ライティングに必要なスキルを習得する。	②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →提出物の取り組み状況によって評価する。
	6	Lesson 3	仮定法/悩み事		
	7	<Hope> Lesson 1	主語を決める		
		期末テスト			

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Lesson 2	動詞を決める		
	10	Lesson 3	動詞を決める		
		中間 考査			
	11	Lesson 4	動詞の形を決める		
		Lesson 5	動詞の形を決める		
12	期 末 考 査				
三 学 期	1	Lesson 6	修飾語を加える		
	2	Lesson 7	修飾語を加える		
	3	学 年 末 考 査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

単語・文法の丸暗記や問題演習が解けるようになるだけでは確かな力は身に付きません。「この文法、この単語は自分だったらどういう場面で使うかな？」と実際の場面をイメージしながら学習に努めましょう。さらに、授業時間だけで十分な英語力を身につけることは不可能です。家庭学習においては、授業で指示されたタスクに取り組み、日々の積み重ねを大切にしましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現Ⅱ	3	2年Ⅰ類 B・C型	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	Revised Vision Quest English Expression I Vision Quest English Expression II Hope		総合英語 Vision Quest 英単語 Stock3000 新ユメジユク

科目の到達目標と CAN-DO リスト	
Writing	Speaking
<b>目標</b> 日常生活での話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができる。 <b>■</b> 印象に残った出来事について、その内容を伝える文章を書くことができる。 <b>■</b> 日本や日本の文化について紹介する文を書くことができる。	<b>目標</b> 日常生活での出来事について説明することや、用件を伝えたりすることができる。 <b>■</b> 印象に残った出来事について、話すことができる。(4分程度) <b>■</b> 日本や日本の文化について紹介することができる。

評価の観点と方法について
定期考査は7割以上、平常点は3割以下として総合判断する。平常点は小テストの成績、 提出課題の内容、授業態度等を総合的に判断して決定する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい (文法事項/トピック)	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Lesson 10	関係詞/文化	①モデル会話文を用いて、スピーキングに必要なスキルを習得する。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容、小テストの結果によって評価する。
		Lesson 11	比較/社会問題		
	5	中間考査		②Practice に取り組み、スピーキング・ライティングに必要なスキルを習得する。	②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →提出物の取り組み状況によって評価する。
	6	Lesson 3	仮定法/悩み事		
	7	<Hope> Lesson 1	主語を決める		
		期末テスト			

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Lesson 2	動詞を決める		
	10	Lesson 3 中間考査	動詞を決める		
		Lesson 4	動詞の形を決める		
	11				
		Lesson 5	動詞の形を決める		
	12	期末考査			
三 学 期	1	Lesson 6	修飾語を加える		
	2	Lesson 7	修飾語を加える		
	3	学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

単語・文法の丸暗記や問題演習が解けるようになるだけでは確かな力は身に付きません。「この文法、この単語は自分だったらどういう場面で使うかな？」と実際の場面をイメージしながら学習に努めましょう。さらに、授業時間だけで十分な英語力を身につけることは不可能です。家庭学習においては、授業で指示されたタスクに取り組み、日々の積み重ねを大切にしましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現 II	3	2年・2類・理型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	Vision Quest (啓林館)	総合英語 be (いっぴな書店)	

<p>科目の到達目標</p> <p>英語を理解するうえで必要不可欠な文法・語法の基礎をしっかりと身につける。</p>

<p>評価の観点と方法について</p> <p>定期考査は70%以上、平常点は30%以下として評価する。</p> <p>平常点は、小テスト、宿題・提出課題の内容、学習態度等に基づいて算出する。</p>

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント			
一学期	4	第12章 疑問詞・疑問文  第13章 強調・倒置・省略・話 法など	文法の土台作りに励む。	それぞれの項目の問題を解きながら、参考書やワークブックを用いて、基本事項を確認・復習する。	各単元・項目がどれくらい理解できているかをチェックする。			
	5	第14章 名詞  中間考査				間違えた問題をチェックし、徹底して復習する。	授業に集中しているか、積極的に参加しているかをチェックする。	
	6	第14章 名詞  第15章 形容詞						小テストの取り組みや宿題の提出状況をチェックする。
	7	第16章 副詞						
		期末考査						

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	第17章 前置詞			
	10	第18章 接続詞			
		中間考査			
	11	別冊の問題集に移行			
	12	期末考査			
三 学 期	1	別冊問題集の続き			
	2				
	3	学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

大学入試問題の中で、正答率が50%の問題があったら、皆さんはどのように思いますか。2人に1人が解ける問題なので、何とか正解したいと思いませんか。実は、入試問題では、正答率50%の問題を落とさないことが非常に大切になってきます。実は、そのレベルの問題は高校1・2年生で学ぶ基本からの出題が多く、いかにこの1年間の土台作りが大切であるかということが見えてきます。地道な学習を粘り強く頑張っていきましょう。



科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現 II	2	2年・2類・理型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	Vision Quest (啓林館)	総合英語 be (いっずな書店)	

<p>科目の到達目標</p> <p>英語を理解するうえで必要不可欠な文法・語法の基礎をしっかりと身につける。</p>

<p>評価の観点と方法について</p> <p>定期考査は70%以上、平常点は30%以下として評価する。</p> <p>平常点は、小テスト、宿題・提出課題の内容、学習態度等に基づいて算出する。</p>

月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一 学 期	4 第12章 疑問詞・疑問文  第13章 強調・倒置・省略・話 法など	文法の土台作りに励 む。	それぞれの項目の問題を解きな がら、参考書やワークブックを 用いて、基本事項を確認・復習 する。  間違えた問題をチェックし、徹 底して復習する。	各単元・項目がどれ くらい理解できてい るかをチェックす る。  授業に集中してい るか、積極的に参加し ているかをチェック する。  小テストの組み 組みや宿題の提出状況を チェックする。
	5 第14章 名詞  中間考査			
	第14章 名詞			
	6 第15章 形容詞			
	7 第16章 副詞  期末考査			

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	第17章 前置詞			
	10	第18章 接続詞			
		中間考査			
	11	別冊の問題集に移行			
	12	期末考査			
三 学 期	1	別冊問題集の続き			
	2				
	3	学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

大学入試問題の中で、正答率が50%の問題があったら、皆さんはどのように思いますか。2人に1人が解ける問題なので、何とか正解したいと思いませんか。実は、入試問題では、正答率50%の問題を落とさないことが非常に大切になってきます。実は、そのレベルの問題は高校1・2年生で学ぶ基本からの出題が多く、いかにこの1年間の土台作りが大切であるかということが見えてきます。地道な学習を粘り強く頑張っていきましょう。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語表現 I	2	2年3類	必修
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	Revised Vision Quest English Expression I		総合英語 Vision Quest workbook プリント

【科目の到達目標】 (Purposes of the Course) 「T-SEEGs 天理学園英語教育ガイドライン」より

<Writing>

1. 日常生活での話題についてある程度まとまりのある文章を書くことができる。
2. 印象に残った出来事について、その内容を伝える文章を書くことができる。
3. 日本や日本の文化について紹介する文を書くことができる。

<Speaking>

1. 日常生活での出来事について説明することや、用件を伝えたりすることができる。
2. 印象に残った出来事について、話すことができる。
3. 日本や日本の文化について紹介することができる。(4分程度)

【評価の観点と方法について】

本クラスの評価は、定期試験、小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、宿題の提出等に基づいて総合的に判断する。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を重視する。

	月	学習単元・項目	学習のねらい (文法事項 / トピック)	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
一学期	4	Lesson 1	文の種類 / 紹介	①モデル会話文を用いて、スピーキングに必要なスキルを習得する。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容、小テストの結果によって評価する。
	5	Lesson 2 中間考査	文型と動詞 / 興味関心		
	6	Lesson 3	時制 / 旅行	②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →提出物の取り組み状況によって評価する。	
	7	Lesson 4 期末テスト	完了形 / スポーツ		

		学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法	評価のポイント
二 学 期	9	Lesson 5	助動詞／食事	①モデル会話文を用いて、スピーキングに必要なスキルを習得する。また、暗唱してテストを行う。  ②Practiceに取り組み、スピーキング・ライティングに必要なスキルを習得する。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容、小テストの結果によって評価する。  ②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →提出物の取り組み状況によって評価する。
	10	Lesson 6	受動態／観光		
		中間考査			
	11	Lesson 7	不定詞／交際		
	12	Lesson 8	動名詞／娯楽		
		期末考査			
三 学 期	1	Lesson 9	分詞／ルール	①モデル会話文を用いて、スピーキングに必要なスキルを習得する。また、暗唱してテストを行う。  ②Practiceに取り組み、スピーキング・ライティングに必要なスキルを習得する。	①授業に積極的に参加しているか。 →授業中の態度とタスクの内容、小テストの結果によって評価する。  ②与えられた課題にしっかり取り組んでいるか。 →提出物の取り組み状況によって評価する。
	2	Lesson 10	関係詞／文化		
	3	学年末考査			

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

単語・文法の丸暗記や問題演習が解けるようになるだけでは確かな力は身に付きません。実際にその表現を使う場面を想定しながら学習しましょう。授業の中での反復練習でその表現を自分のものにして、さらに家庭学習において、授業の復習をし、日々の積み重ねを大切にしましょう。英語はスポーツや音楽と同じように基礎が大切です。この授業ではしっかりと文法の基礎を築けるように、授業をしっかりと聞きましょう。毎回の授業で分からないところがあれば積極的に質問して、分からないままにしておかないようにしてください。

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語演習	3	2年I類C型	必修
授業担当者	教科書名	副教材等	
*****	特に指定しない	『ALL EARS: BASIC』美誠社『ヒビスピ』ALC また、ハンドアウトを多用する。	

### 【科目の到達目標】 (Course Objectives)

本科目は、英語コース専門科目として開講される。そのため、従来の必修英語科目のみではカバーしきれない speaking や presentation 等の oral communication 能力育成を重点的に行い、学んだ英語表現を用いて、英語での自己表現をできることを目的とする。具体的には、日常生活に関する話題や用件を英語で伝えたり、日本の文化等の身の回りのことを英語で伝えられるようになることである。また、言語のトレーニングのみにとどまらず、英語習得の上で重要な語学面または文化面での知識の習得にも努める。さらに、普段の授業内での取り組みを実践的に活用するための Team Teaching や3年生C型との合同行事等も開催する。授業の内外での学習を通して習得した英語力によって、実用英語技能検定試験（英検）等の資格試験において満足いく結果を出せるよう、英語専攻生としての自覚と誇りをもった授業への参加姿勢を強く望む。

### 【評価の観点と方法について】 (Grading Procedure)

本科目の評価は、定期考査の成績、小テスト、各種プレゼンテーション、授業への参加姿勢、課題の提出等に基づいて行う。特に、授業内における様々な活動への参加姿勢を最重視する。

	月	ねらい	具体的な目標および学習内容・方法			評価・留意点
			Interaction	Production	語学・文化の知識	
一 学 期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい発音、英語らしい抑揚や音の変化を意識して読める。</li> <li>流暢に読める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読練習</li> <li>発表①</li> <li>内容のアレンジ</li> <li>発表②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読練習</li> <li>発表</li> <li>ディクテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発音記号</li> <li>イギリス英語とアメリカ英語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に練習しているか。</li> <li>英文を暗唱できているか。</li> <li>覚えた英文を使いこなせているか。</li> </ul>
	5					
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい発音、英語らしい抑揚や音の変化を意識して読める。</li> <li>流暢に読める。</li> <li>状況に応じた読み方ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読練習</li> <li>発表①</li> <li>内容のアレンジ</li> <li>発表②</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音読練習</li> <li>発表</li> <li>ディクテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>品詞（名詞、形容詞、副詞、前置詞等）</li> <li>生活に関する英語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>積極的に練習しているか。</li> <li>英文を暗唱できているか。</li> <li>覚えた英文を使いこなせているか。</li> </ul>
7	<b>期末考査 Semester Examination</b>					

	月	ねらい	具体的な学習内容・方法			評価・留意点
			Interaction	Production	語学・文化の知識	
二 学 期	9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流暢に読める。</li> <li>・状況に応じた読み方ができる。</li> <li>・ジェスチャー等も意識できる。</li> </ul>	<b>&lt;Skit&gt;</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音読練習</li> <li>・暗唱</li> <li>・演技</li> <li>・ジェスチャー</li> <li>・内容のアレンジ</li> <li>・発表</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読練習</li> <li>・発表</li> <li>・ディクテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語の成り立ち（接頭辞、接尾辞等）</li> <li>・日本の文化に関する英語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に練習しているか。</li> <li>・英文を暗唱できているか。</li> <li>・覚えた英文を使いこなせているか。</li> </ul>
	10	<b>中間考査 Midterm Examination</b>				
	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分や身近なことについて6往復程度のやりとりができる。</li> <li>・話し手の意図や内容の状況を理解できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読練習</li> <li>・発表①（暗唱）</li> <li>・内容のアレンジ</li> <li>・発表②</li> </ul> <p style="text-align: center;">&lt;2,3年生C型合同国際交流会&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読練習</li> <li>・発表（暗唱）</li> <li>・ディクテーション</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数字の読み方</li> <li>・外国の文化に関する英語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に練習しているか。</li> <li>・英文を暗唱できているか。</li> <li>・覚えた英文を使いこなせているか。</li> </ul>
	12	<b>期末考査 Semester Examination</b>				
三 学 期	1	日常生活での出来事について説明することや、用件を伝えたりすることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・印象に残った出来事について、やりとりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本や日本の文化について紹介することができる（4分程度）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教養英語</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積極的に練習しているか。</li> <li>・英文を暗唱できているか。</li> <li>・覚えた英文を使いこなせているか。</li> </ul>
	2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・即興会話練習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ作成</li> </ul>		
	3			<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表</li> </ul>		
<b>学年末考査 Final Examination</b>						

**【その他(履修上の留意点・大学等進学のための学習など)】**

C型の生徒として、自覚をもって英語学習に取り組むことを期待します。英語を上達させるためには、授業内の学習だけでは不十分であり、課外でどれだけ積極的に取り組むかで決まります。その上でまず必要なことは、量をこなすことです。そのため本クラスでは、「Communication 英語 II」「英語表現 II」における宿題や小テストに加え、各自で継続して取り組むべき課題を大量に課すことで、それを達成します。また、授業内で用いる教材は、上に紹介した授業計画・内容に基づいたトレーニングのため、歴史的な名スピーチや映画の会話文、英語の歌、天理教の伝道英語など多岐に渡ります。さまざまな英語表現に出会い、それらを吸収して自分のものにできるよう、日々の練習に全身全霊かつ真剣に取り組み、かつ楽しく英語を勉強しましょう！

**1. Enjoy yourselves and keep studying with the Tenri Spirit. Then you will get what you want!!**

**2. Heavens help those who help themselves.**

科目名	単位数	指導学年・類・型	必修・選択
英語演習	3	2年・2類・文型	選択
授業担当者	教科書名		副教材等
*****	Vision Quest 1 (啓林館) Joy Reader 1 (数研出版)		プリント等

<b>科目の到達目標</b>
ある程度のもつた英文を短時間で正確に読み取り、設問に答えられる能力を養う。
ALTの授業では主にスピーチ活動に取り組みながら、ListeningやSpeakingの活動を取り入れることにより、実践的な英語力を身に付けさせる。

<b>評価の観点と方法について</b>
定期考査と平常点(小テスト、課題への取り組み状況、授業態度等)を加味して総合的に判断する。
定期考査はプリントの内容を中心とする。

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
一 学 期	4	Lesson 1-8	<b>【長文読解】</b> ・相手に内容を伝えられるように読む力をつける。 ・テキストの長文で学習した語彙や表現を完璧に習得する。	ペアワーク 寸劇 ストーリーテリング 和文和訳からの英訳
	5	<中間考査>  Lesson 9-12	<b>【Team Teaching】</b> ・失敗を恐れずに英語を発話する姿勢を身に付ける。 ・基本となる『アイデアをまとめる力』を養成する。	
	6	Unit 1-5		
	7	<期末考査>		

	月	学習単元・項目	学習のねらい	具体的な学習内容と方法
二 学 期	9	Unit 6-15		
	10	<中間考査> 英作基礎練習		
	11			
	12	<期末考査>		
三 学 期	1	英作応用練習		
	2			
	3	<学年末考査>		

その他（履修上の留意点・大学等進学のための学習など）

この授業では、100語程度の英文をたくさん音読します。まずは、前から文章を読み解いていく直読直解を身に付けていきましょう。それには、単語力と文法力が不可欠です。自信がない人は、基礎力がないことを認め、今一度基礎固めに各自でつとめてください。最終的には、ある程度のまとまった英語を前にした時に臆することなく読み切る精神力と体力を身に付けられるようにしましょう。短文を読む力が身に付けば、短文の集合体である長文も読み解けるようになります。